## FUJ¦FILM

## メッセージ通知管理アプリケー ションのヘルプ ArcSuite 4.0

#### はじめに

このたびは富士フイルムビジネスイノベーションのArcSuite<sup>®</sup>をご利用いただき、まことにありがとうございます。

一般に、企業活動では、各業務に関する情報はさまざまな形態のドキュメントとして存在しています。ここでいうドキュメントとは、紙に書かれた文書だけを示す狭義のものではありません。紙はもちろんのこと、ホワイトボードに書かれた文字や図表、プロジェクターやテレビに映し出された映像などを含む広義なものを指します。ドキュメントは一般に、ひとりの手で作成されるものではなく、複数の人の意見交換や討議を経て作成されます。単純な作業や複雑な計算はコンピューターに委ねられ、あらゆる分野でさまざまなソリューションが展開されていますが、ドキュメントの作成では一般に人が中心なのです。

ArcSuiteは、「ドキュメント」に着目して「人」と「人」をつなぐ、「ドキュメント指向」のソリューション・ パッケージです。ArcSuiteをご利用いただくことによって、さまざまなコンピューターシステムを統合したうえ でのドキュメントの共有や管理が可能になります。

お使いの商品構成によって、次の機能が標準で提供されないことがあります。

コラボスペース、ドキュメントレビューオプション、ワークフロー、分類ビュー、関連文書検索サービス、原本性 保証オプション、キャプチャリングサービス、統合検索サービス、オンラインバックアップオプション、ドキュメ ントー括操作ツール、連携フォルダ for DocuWorks、連携オプション for Working Folder

本書の内容は、Microsoft Windows Operating System、およびWebブラウザーの基本的な知識や操作方法を習得されているかたを対象として記述しています。

Excel、Microsoft、Windows、およびWindows Serverは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他の社名または商品名などは、各社の登録商標または商標です。 Microsoft Corporationの許可を得て画面写真を使用しています。

ご注意

- ・本書の編集、変更、または無断での転載はしないでください。
- ・本書に記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- ・本書に記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OSのバージョンによって 異なることがあります。

FUJIFILM、およびFUJIFILM ロゴは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。 ArcSuite、およびDocuWorksは、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標または商標です。

## 著作権について

本ソフトウェア、およびバックアップのために複製されたソフトウェアに関する著作権等を含む一切の無体財 産権は、弊社および弊社への供給者に帰属します。 (c) 2002-2021 FUJIFILM Business Innovation Corp.

#### マニュアル体系

ArcSuiteには、次のマニュアルおよびヘルプがあります。 マニュアルは、PDFファイルまたはヘルプの形式で提供しています。 主なマニュアルは、『ポータル画面のヘルプ』から参照できます。『ポータル画面のヘルプ』は、Webブラウ ザーの操作画面にある[ヘルプ]から表示できます。

補足お使いの商品構成によっては、提供されない機能の説明がマニュアルに含まれることがあります。

#### ■ 管理者ユーザー向け

名称	概要
セットアップガイド	本製品全体のセットアップ方法について説明しています。
システム管理者ガイド	リソース管理サービスの概要、機能、管理操作を行うコマンドについ て説明しています。また、本製品の運用に必要な管理作業について説 明しています。
ドキュメント管理サービス管理者	ドキュメント管理サービスの概要、機能、および管理操作を行うコマ
ガイド	ンドについて説明しています。
ドキュメント管理サービス管理ア プリケーション デスクトップ版の ヘルプ	サーバーで行うドキュメント管理サービスの管理操作について説明しています。
ドキュメント管理サービス管理 アプリケーション Web版のヘル プ	クライアントPCで行うドキュメント管理サービスの管理操作について 説明しています。
オフラインバックアップ・	オフラインバックアップ機能の操作、およびリストア機能の操作につ
リストア運用ガイド	いて説明しています。
リソース管理アプリケーションの	ユーザー、グループ、ユーザーロールの追加、およびライセンスの編
ヘルプ	集、検索について説明しています。
ログインサーバー管理アプリケー ションのヘルプ	ログインサーバーでの認証モードの設定について説明しています。
メッセージ通知管理アプリケー	メッセージ通知サーバーの設定、メッセージのスプール管理、メッ
ションのヘルプ(本書)	セージテンプレートの設定について説明しています。
ポータル管理アプリケーションの	ユーザープロファイルに表示する項目の設定、お知らせの設定につい
ヘルプ	て説明しています。
ドキュメントスペース管理アプリ	属性テンプレートや表示する属性の設定、表示するボタンの設定、お
ケーションのヘルプ	よびシステム環境の設定について説明しています。
表示アプリケーション管理ツール	表示アプリケーションのテンプレート、システム環境の設定について
のヘルプ	説明しています。
ログ管理アプリケーションの	ログを表示する機能、ログを取得する機能、および保守情報を一括で
ヘルプ	取得する機能について説明しています。

名称	概要
監視ツールのヘルプ	ArcSuiteのコンポーネントにアクセスしているユーザー、データベー スの状態、およびセッションの状態を監視する機能について説明して います。
ドキュメントスペースドキュメン	ドキュメントスペースの機能にURLを使用して接続する機能について
ト操作URLリファレンスガイド	説明しています。
オンラインバックアップ・	オンラインバックアップ機能の操作、およびリストア機能の操作につ
リストア運用ガイド	いて説明しています。
e-文書法対応 概要説明書	e-文書法対応の概要および原本性保証オプションの機能について説明 しています。
コラボスペース管理アプリケー	コラボスペースのメールの設定、ログの設定、およびタスクやメッ
ションのヘルプ	セージの用語をカスタマイズする設定について説明しています。
ワークフロー管理アプリケーショ	ワークフロー定義または起動テンプレートの作成者および公開者の設
ンのヘルプ	定、ログの設定、外部コマンドの設定について説明しています。
キャプチャリング管理アプリケー	キャプチャリングサービスの監視キューに対する操作について説明し
ションのヘルプ	ています。
統合検索サービス管理アプリケー	統合検索サービスのリソースの設定、収集スケジュールの設定、およ
ションのヘルプ	びシステム環境の設定について説明しています。
コラボスペースタスク操作URL	コラボスペースの機能にURLを使用して接続する機能について説明し
リファレンスガイド	ています。
ワークフロー操作URLリファレン	ワークフローの機能にURLを使用して接続する機能について説明して
スガイド	います。
Webサービスインターフェイス	ArcSuiteの機能にSOAPを使用して接続するAPIについて説明してい
リファレンスガイド	ます。
ドキュメント管理サービスSDK	ドキュメント管理サービスのオブジェクトを処理するコマンドについ
リファレンスガイド	て説明しています。
コラボスペースInterface Toolkit	コラボスペースのオブジェクトを処理するコマンドについて説明して
リファレンスガイド	います。
ワークフロー Interface Toolkit	ワークフローのオブジェクトを処理するコマンドについて説明してい
リファレンスガイド	ます。

#### ■ クライアントユーザー向け

名称	概要
ポータル画面のヘルプ	ポータル画面で、お気に入りの編集、ユーザープロファイルを変更す る操作について説明しています。 Webブラウザーの操作画面にある[ヘルプ]から参照してください。
アドレス帳のヘルプ	アドレス帳で、ユーザー、グループ、ユーザーロール、およびタスク を検索する操作について説明しています。
ドキュメントスペースのヘルプ	ドキュメントスペースで、登録、属性の変更、検索などのドキュメン トを管理する機能の操作について説明しています。
表示アプリケーションのヘルプ	表示アプリケーションで、ブラウザーイメージ変換された画像を編集 する操作、およびユーザー設定について説明しています。
検索条件式のヘルプ	ドキュメントスペースの詳細検索で、全文検索または属性検索の条件 式をXMLで指定するときの記述方法について説明しています。

名称	概要
簡易操作のヘルプ	簡易操作画面でドキュメントを管理する機能の操作、および操作画面 の設定方法について説明しています。
コラボスペースのヘルプ	コラボスペースで、タスクの作成、メッセージの登録、および検索な どの操作について説明しています。
ワークフローのヘルプ	ワークフローで、ワークフロー定義の作成、公開および起動する操作、 作業を実行する操作について説明しています。
ドキュメントー括操作ツール説明	Microsoft Excelを使って、ドキュメント管理サービスのオブジェクト
書	を処理する操作について説明しています。
デスクトップクライアント	デスクトップクライアントのセットアップ方法について説明していま
セットアップガイド	す。
デスクトップクライアント	デスクトップクライアントで、ドキュメント管理サービスのフォル
操作説明書	ダーやドキュメントにアクセスする操作方法について説明しています。
連携フォルダ for DocuWorks	連携フォルダ for DocuWorksのセットアップ方法について説明して
セットアップガイド	います。
連携フォルダ for DocuWorksの	DocuWorks Deskで、ArcSuiteに登録されているドキュメントを操
ヘルプ <sup>(*1)</sup>	作する方法について説明しています。

\*1: 連携フォルダ for DocuWorks をインストールした DocuWorks Desk のヘルプから参照してください。

#### 本書の使い方

本書は、メッセージ通知管理アプリケーションの基本的な使い方について説明しています。

#### ■ 本書の構成

本書は、次の章から構成されています。

1 メッセージ通知管理アプリケーションとは

メッセージ通知管理アプリケーションの概要について説明しています。

2 メッセージ通知管理アプリケーションでできること

メッセージ通知の設定方法について説明しています。

#### ■ 本書の表記

・本書では、次の記号を使用しています。

<> +-	キーボードのキーを表します。 例: <enter>キーを押します。</enter>
[]	画面に表示されるメニュー、ボタン、項目を表します。 例:[新規作成]をクリックします。
[ ]	同一マニュアル内の参照箇所を表します。 また、強調する用語やメッセージも表します。 例:「1 概要」 「名前が指定されていません。」と表示されます。
ſ J	参照するマニュアルの名前を表します。 例: 『システム管理者ガイド』

{ }	ユーザー名やサーバー名など、操作時に変わる値を表します。 例: [{ユーザー名}] をクリックします。
>	メニューやWebページの階層を表します。 例:[システムとセキュリティ]>[管理ツール]
注記	一般的な注意事項を表します。
補足	機能や操作に関する補足説明を表します。
参照	参照する事項があることを表します。
	参照先タイトルやページへのリンクがあることを表します。 例: <u>「1 概要」(P.6)</u>

・Microsoft Windows Operating System を「Windows」と表記しています。

・パーソナルコンピューターを「PC」と表記しています。

・お使いの環境によって、マニュアルに記載の画面と実際の画面が異なることがあります。

・特に表記がない場合の製品のバージョン番号は「4.0」です。

目次

#### 1 メッセージ通知管理アプリケーションとは

1.1	メッセ	?ージ通知とは	9
	1.1.1	概要	
	1.1.2	メッセージ通知の構成	
1.2	メッセ	マージ通知サーバーとは	
	1.2.1	メッセージ通知サーバーにおけるメッセージの流れ	
	1.2.2	S/MIME メールの配信ルール	
	1.2.3	配信に失敗した電子メールを再送信する	
	1.2.4	メッセージ通知サーバーを管理する	

#### 2 メッセージ通知管理アプリケーションでできること

2.1	管理アプリケーションを起動する	.15
	2.1.1 管理アプリケーションを起動する手順	15
2.2	管理メニューを選択する	.16
2.3	サーバー情報を表示する	. 17
	2.3.1 [サーバー情報] ページの構成	17
	2.3.2 サーバー情報を表示する手順	17
2.4	メッセージのスプールを管理する	. 18
	2.4.1 [スプールメール一覧] ページの構成	18
	2.4.2 メッセージのスプールを管理する手順	19
2.5	ダイジェスト情報を管理する	. 20
	2.5.1 [ダイジェストメールボックス一覧]ページの構成	20
	2.5.2 ダイジェスト情報を管理する手順	21
2.6	メッセージのテンプレートを編集する	. 22
	2.6.1 即時配信メッセージのテンプレートを編集する	22
	[即時配信メールテンプレート一覧] ページの構成	22
	[即時配信メールテンプレート編集]ページの構成	23
	即時配信メッセージのテンプレートを編集する手順	24
	2.6.2 ダイジェストメッセージのテンプレートを編集する	25
	_ダイジェストメールテンプレート一覧」ページの構成	25
	[タインエストメールテンノレート編集] ペーンの構成	25
~ -		20
2.7	メッセーシ連知コンボーネントの設定を変更する	.28
	2.7.1 [設定の変更] ペーンの構成	28 22
	2.7.2 メッセーシ通知コンホーネントの設定を変更する于順	32
2.8	メッセージ通知サーバーの送信制限状況を確認する	.36
	2.8.1 [送信制限力ワント状況] ページの構成	36
	2.8.2 送信制限力ワントをリセット9る手順	30
2.9	テストメールを送信する	.37
	2.9.1 [ナストメール送信] ページ	37
	2.9.2 アストメールを送信する手順	37
2.10	管理アプリケーションを終了する	. 38
	2.10.1 管理アプリケーションを終了する手順	38

# 1 メッセージ通知管理アプリケーションとは

メッセージ通知管理アプリケーションの概要について説明します。

## 1.1 メッセージ通知とは

#### 1.1.1 概要

メッセージ通知には、2つの機能があります。

#### ◇メール送信機能

ほかのコンポーネントからのメッセージを、電子メールとして各ユーザーに送信します。

- ・メッセージ通知サーバー接続機能
- ・メッセージ再送信機能
- ・メール送信可否判断機能

#### ◇メール管理機能

- メッセージを登録したり、管理ページでメッセージを管理したりします。
- ・即時送信メッセージの電子メール内容を作成する機能
- ・ダイジェストメッセージ用の情報を保持する機能
- ・ダイジェストメッセージを指定時刻に送信する機能
- ・ダイジェストメッセージの電子メール内容を作成する機能
- ・ S/MIME メール内容を作成する機能
- ・メッセージを電子メールとして送信する機能
- ・配信に失敗した電子メールを再送信する機能
  - 補足
     ArcSuite 4.0 で、メッセージ通知を使用するのは、コラボスペース、ワークフロー、原本性保証オプション、リポジトリコンポーネントです。
    - ・ほかのコンポーネントからメッセージ通知サーバーに電子メールとしてメッセージを登録する際、メッ セージの全体サイズが設定範囲を超えていたり、設定された複数の宛先のうち、1つでもメールアドレス として正しくない値が含まれていた場合は登録処理がエラーとなります。

メッセージの種類を次に示します。

#### ◇即時配信メッセージ

アプリケーションからメッセージの送信要求を受けると、すぐにメッセージを送信します。

#### ◇ダイジェストメッセージ

アプリケーションからメッセージの送信要求を受けると、メッセージをいったんサーバーに格納します。格納したメッセージを、1日に1回、各ユーザーが指定した時刻に送信します。

#### 1.1.2 メッセージ通知の構成

メッセージ通知の構成図を次に示します。



図:メッセージ通知の構成図

## 1.2 メッセージ通知サーバーとは

メッセージ通知サーバーは、アプリケーションから受け付けたメッセージのタイプに応じてメッセージを処理します。処理されたメッセージは、電子メールとしてSMTPサーバーに送信されます。

#### 1.2.1 メッセージ通知サーバーにおけるメッセージの流れ

メッセージ通知サーバーにおけるメッセージの流れを次に示します。

- (1) アプリケーションからメッセージを受け付けます。
- (2) メッセージタイプを振り分けます。
   「▲メッセージが即時配信メッセージの場合」(P.11)
   「▲メッセージがダイジェストメッセージの場合」(P.11)
  - 補足
     スプールに格納されたメッセージは、電子メールとして定期的に SMTP サーバーに送信されます。送信に成功すると、スプールからメッセージが消去されます。
     SMTP サーバーの接続または送信に失敗した場合、電子メールは自動的に再送信されません。ただし、メッセージ通知の管理者の指示により再送信させることができます。
- メッセージが即時配信メッセージの場合
  - (1) 受け付けたメッセージ文字列にメッセージテンプレートを適用します。
  - (2) スプールにメッセージを格納します。
  - (3) 格納されたメッセージを SMTP サーバーに電子メールとして送信します。

#### ■ メッセージがダイジェストメッセージの場合

- (1) 受け付けたメッセージ文字列をメッセージ送信先に応じて保存します。 ユーザー ID、メールアドレス、言語、テンプレート名ごとに保存されます。
- (2) メッセージの通知時刻になると、メッセージ配信先ごとに保存されたメッセージを集め、メッセージテンプレートを適用して、ダイジェストメッセージを作成します。
   各ユーザーは、1日1回、ダイジェストメッセージを受け取ることになります。
   補足 ダイジェストメッセージの通知時刻は、ダイジェストメール送信元が設定します。
- (3) メッセージを電子メールとして SMTP サーバーに送信します。
- (4) 接続または送信に失敗した電子メールを、スプールにメッセージとして格納します。

補足 ダイジェストメッセージに使用するテンプレートと、即時配信メッセージで使用するテンプレートは 同じ名前であっても区別されます。

#### S/MIME メールの配信ルール 1.2.2

S/MIME設定が有効になっている場合は、次の表のルールに従って、どのユーザーの宛先にS/MIME処理をし たメールを配信するかが判別されます。 表:S/MIME メールの配信ルール

S/MIMF設定	S/MIME対象ユーザー		S/MIME対象外	ノヽヽ <b>ヮ _</b> ++*
S/WIIVILEXE	証明書あり	証明書あり 証明書なし	ユーザー	
署名のみ	署名メール	署名メール	平文	署名メール
暗号のみ	暗号メール	送らない	平文	送らない
暗号署名	暗号署名メール	送らない	平文	送らない

#### ◆ S/MIME 対象ユーザー

次のどちらかの条件を満たすユーザーです。

- ・リソース管理サービスに登録され、メッセージ通知管理アプリケーションの S/MIME 対象外ロールに設定 されていない
- ・リソース管理サービスに登録され、メッセージ通知管理アプリケーションの S/MIME 対象外グループに所 属していない

#### ◆ S/MIME 対象外ユーザー

次のどちらかの条件を満たすユーザーです。

- ・リソース管理サービスに登録され、メッセージ通知管理アプリケーションの S/MIME 対象外ロールに設定 されている
- ・リソース管理サービスに登録され、メッセージ通知管理アプリケーションの S/MIME 対象外グループに所 属している

#### 🔶 ノンユーザー

リソース管理サービスのユーザー情報に登録されていないメールアドレスのことです。

なお、ダイジェストメッセージでは、メール送信直前の設定によって上記の判別が行われます。

補足・・署名メール、暗号署名メールには、メッセージ通知の管理者の署名が付加されます。そのため、署名メー ル、暗号署名メールを送信するには、メッセージ通知の管理者の秘密鍵と証明書が登録されている必要が あります。

また、証明書の公開鍵アルゴリズムは、RSA である必要があります。

- ・暗号メール、暗号署名メールは、メッセージの宛先ユーザーの証明書を使ってメール本文を暗号化します。 宛先ユーザーの証明書には、リソース管理サービス(RMS)に登録されているものを使います。 また、証明書の公開鍵アルゴリズムは、RSA である必要があります。
- ・署名アルゴリズムは、SHA256withRSA を使用しています。署名方法は、Clear 署名です。 弱いアルゴリズム (SHA1withRSA) を指定することもできます。 暗号には共通鍵アルゴリズムは AES (256bit) を、公開鍵アルゴリズムは RSA(2048bit) を使用してい ます。弱いアルゴリズム(共通鍵アルゴリズム:TripleDES、公開鍵アルゴリズム:RSA(1024bit))を 指定することもできます。
- ・暗号署名メールは、署名をしてから暗号化しています。
- ・S/MIME メールを受信して、署名の検証、暗号の復号を行うには、お使いのメーラーが S/MIME に対応し ている必要があります。
- ・暗号メールまたは暗号署名メールを受信して、暗号の復号に失敗した場合は、メッセージ内容を確認でき ません。
- 注記 クライアント OS のバージョンによって、一部のメーラーではメールの復号・検証が行えない場合がありま す。セキュリティポリシーなど運用環境の制約に合わせて、弱いアルゴリズムの設定を検討してください。

#### 1.2.3 配信に失敗した電子メールを再送信する

メッセージ通知サーバーが、SMTPサーバーに接続または通信するときに失敗すると、スプールに保持されます。

スプールされたメールはそのままでは再送信されません。再送信させるためには、メッセージ通知管理ページ でメールの状態を変更することにより、再送信対象メールになります。変更方法は <u>「2.4.2 メッセージのス</u> <u>プールを管理する手順|(P.19)</u>を参照してください。

#### 1.2.4 メッセージ通知サーバーを管理する

メッセージ通知の管理者は、メッセージ通知サーバーに接続し、メッセージ通知サーバーを管理できます。 メッセージ通知サーバーを管理する権限を持つユーザーは、リソース管理サービス(RMS)に登録された メッセージ通知コンポーネントエントリーに対して管理者権限を持つユーザーだけです。 メッセージ通知サーバー管理の機能を、次に示します。

- ・サーバー情報表示機能
- ・スプール管理機能
- ・ダイジェスト情報表示機能
- ・テンプレート編集機能
- ・設定変更機能
- ・送信制限カウント状況
- ・動作テスト機能
  - 参照 メッセージ通知サーバーを管理する機能の詳細については、次の項を参照してください。
    - ・<u>「2.3 サーバー情報を表示する」(P.17)</u>
    - ・<u>「2.4 メッセージのスプールを管理する| (P.18)</u>
    - · [2.5 ダイジェスト情報を管理する] (P.20)
    - ・<u>「2.6 メッセージのテンプレートを編集する|(P.22)</u>
    - ・「2.7 メッセージ通知コンポーネントの設定を変更する」(P.28)
    - ・「2.8 メッセージ通知サーバーの送信制限状況を確認する」(P.36)
    - ・<u>「2.9 テストメールを送信する」(P.37)</u>
  - 注記 メッセージ通知管理サーバーが設置されているマシンにウイルス対策ソフトウェアが導入されている場合、 ウイルス対策ソフトウェアによっては、SMTP サーバーへの接続に使用する Port の利用が制限されます。 そのため、メッセージ通知管理サーバーからメールを送信すると、失敗することがあります。失敗したとき は、ウイルス対策ソフトウェアの設定を変更してください。
  - 補足・負荷分散環境でメッセージ通知サーバーが複数設置された場合は、管理ページの表示やメール登録は常時 すべてのサーバーで稼働しますが、メールの送信機能はただ1つのサーバーで実行され、ほかのサーバー ではスタンバイ状態となります。
    - ・どのサーバーのメール送信機能を動作させるかは、メッセージ通知管理ページで変更できます。

# 2 メッセージ通知管理アプリケーションでできること

メッセージ通知の管理者は、メッセージ通知サーバーを管理することによって、メッ セージ通知の設定ができます。

## 2.1 管理アプリケーションを起動する

[メッセージ通知管理]画面では、メッセージ通知の設定ができます。

ここでは、メッセージ通知サーバーを管理するために、[メッセージ通知管理] 画面を表示する操作手順を説明します。

参照
 「ポータル] 画面の詳細については、「ポータル画面のヘルプ」を参照してください。
 「システム管理] 画面の詳細については、「ポータル画面のヘルプ」を参照してください。

#### 2.1.1 管理アプリケーションを起動する手順

- [ポータル] 画面で、[システム管理] リンクをクリックします。
   [システム管理] 画面が表示されます。
   参照 [ポータル] 画面の表示方法については、『ポータル画面のヘルプ』を参照してください。
- **2.** [システム管理] 画面の左側にある [システム管理] から、[メッセージ通知] をクリックします。 画面の右側に、メッセージ通知サービスの情報が表示されます。
- **3.** 管理アプリケーションのリンクをクリックします。 [管理ログイン] 画面が表示されます。
- **4.** 管理者権限を持つユーザーの [ユーザー ID] と [パスワード] を入力します。
- 5. [ログイン] をクリックします。

ログインに成功すると、[メッセージ通知管理]画面が表示されます。

補足 メッセージ通知の管理者の権限がないユーザーで [ログイン] をクリックした場合は、エラーメッ セージが表示され、[メッセージ通知管理] 画面は表示されません。

## 2.2 管理メニューを選択する

メッセージ通知管理アプリケーションの設定は、画面の左側に表示される管理メニューから選択できます。



図:管理メニュー

[メッセージ通知管理]の各項目について説明します。

項目	説明
[サーバー情報] リンク	クリックすると、[サーバー情報]ページが表示されます。
	参照 [サーバー情報] ページの詳細については、 <u>「2.3.1 [サーバー情報] ペー</u> <u>ジの構成 (P.17)</u> を参照してください。
[スプールメール一覧]	クリックすると、[スプールメール一覧] ページが表示されます。
020	参照 [スプールメール一覧] ページの詳細については、「2.4.1 [スプールメー ル一覧] ページの構成 (P.18)を参照してください。
[ダイジェストメール	クリックすると、[ダイジェストメールボックス一覧] ページが表示されます。
ホックス一頁」リフク	参照 [ダイジェストメールボックス一覧]ページの詳細については、 <u>「2.5.1</u> <u>「ダイジェストメールボックス一覧]ページの構成 (P.20)</u> を参照してく ださい。
[即時配信メール]リン	クリックすると、[即時配信メールテンプレート一覧] ページが表示されます。
2	参照 [即時配信メールテンプレートー覧] ページの詳細については、「[即時配信 メールテンプレートー覧] ページの構成」(P.22)を参照してください。
[ダイジェスト] リンク	クリックすると、[ダイジェストメールテンプレート一覧] ページが表示されます。
	参照 [ダイジェストメールテンプレート一覧]ページの詳細については、「「ダイ ジェストメールテンプレート一覧]ページの構成 (P.25) を参照してくだ さい。
[設定の変更] リンク	クリックすると、[設定の変更]ページが表示されます。
	参照 [設定の変更] ページの詳細については、 <u>[2.7.1 [設定の変更] ページの</u> <u>構成 (P.28)</u> を参照してください。
[送信制限カウント状況]	クリックすると、[送信制限カウント状況] ページが表示されます。
-9 <i>-</i> 99	参照 [送信制限カウント状況] ページの詳細については、 <u>[2.8.1 [送信制限力</u> ウント状況] ページの構成 (P.36) を参照してください。
[テストメール送信] リ	クリックすると、[テストメール送信] ページが表示されます。
	参照 [テストメール送信] ページの詳細については、 <u>「2.9.1 「テストメール送</u> <u>信] ページ  (P.37)</u> を参照してください。

## 2.3 サーバー情報を表示する

[サーバー情報]ページでは、メッセージ通知サーバーの情報、動作状況を表示できます。 ここでは、メッセージ通知サーバーの情報を表示する手順を説明します。

#### 2.3.1 [サーバー情報] ページの構成

[メッセージ通知管理] で、[サーバー情報] リンクをクリックすると、[サーバー情報] ページが表示されます。

[サーバー情報]ページの各項目について説明します。

項目	説明
[ホスト名]	メッセージ通知サーバーのホスト名が表示されます。
[稼働状況]	<ul> <li>メッセージ通知サーバーの稼働状況が表示されます。</li> <li>稼働中:メール送信機能が稼働しています。</li> <li>待機中:メール送信を行っていません。待機状態となっています。</li> <li>削除済み:メッセージ通知コンポーネントがアンインストールされ、メール送信していません。</li> <li>停止:サーバーが起動していないか、障害によりメール送信機能が停止しています。</li> <li>異常:メッセージ通知コンポーネントが正しくインストールされていない可能性があります。</li> </ul>
[名前]	メッセージ通知サーバーのホストエントリ識別子、ホストエントリ名、ホストエントリの DN、最終更新時刻が表示されます。
[値]	[名前]の項目の内容が表示されます。
[稼働実行]	複数のメッセージ通知コンポーネントがインストールされている負荷分散環で、稼働状況 が「待機中」になっているサーバーの稼働実行欄に「稼働する」ボタンが表示されます。 管理者は任意の待機中サーバーの稼働ボタンをクリックすることにより、指定したサー バーの稼働状態を変更することができますが、その場合、それまで「稼働中」となってい たサーバーの稼働状況は「待機中」となります。

#### 2.3.2 サーバー情報を表示する手順

**1.** [メッセージ通知管理] 画面で、[サーバー情報] リンクをクリックします。 [サーバー情報] ページが表示されます。

## 2.4 メッセージのスプールを管理する

[スプールメール一覧]ページでは、メッセージ通知サーバーにスプールされているメッセージの管理ができます。 ここでは、メッセージ通知のスプールを管理する操作手順を説明します。 管理できる内容は次の4つです。

- ・スプールされているメッセージを再スキャンする
- ・スプールされているすべてのメールを「送信待ち」にする
- ・保留されているすべてのメールを削除する
- ・スプールされているすべてのメールを削除する

#### 2.4.1 [スプールメール一覧] ページの構成

[メッセージ通知管理] で、[スプールメール一覧] リンクをクリックすると、[スプールメール一覧] ページ が表示されます。

[スプールメール一覧]ページの各項目について説明します。

項目	説明
[最新の状態に更新]	クリックすると、スプールされた状態のメールを再スキャンします。再スキャン後は、[スプールメール一覧]ページが更新されます。
[すべてリセット]	クリックすると、スプールされている電子メールが [送信待ち] 状態に変更されま す。 [すべてリセット] をクリックすると、エラーが原因で [保留] 状態になっている 電子メールが再送信されます。
[保留メール全削除]	クリックすると、確認メッセージが表示されます。 [はい]をクリックすると、保留メールがすべて削除されます。
[すべて削除]	クリックすると、確認メッセージが表示されます。 [はい]をクリックすると、メッセージ通知サーバーにスプールされている電子 メールがすべて削除されます。
[登録日時]	メッセージ通知サーバーに電子メールがスプールされた日時が表示されます。
[題目]	電子メールのサブジェクトが表示されます。
[アドレス情報] - [表示]	クリックすると、メッセージ送信用スプールに格納されている電子メールについ て、各コンポーネントが指定したアドレス情報が表示されます。
[最後のエラー]	電子メールを送信しようとしてエラーが発生した場合、最後に発生したエラーが表示されます。
[状態]	電子メールのスプール状態として次のどちらかが表示されます。 [送信待ち] 電子メールが送信待ちの状態です。 自動的にSMTPサーバーに送信されます。 [保留] 電子メールが保留の状態です。 電子メールは送信されません。
[削除実行]-[削 除]	クリックすると、メッセージ通知サーバーにスプールされている電子メールが削除 されます。

#### 2.4.2 メッセージのスプールを管理する手順

- [メッセージ通知管理] 画面で、[スプールメール一覧] リンクをクリックします。
   [スプールメール一覧] ページが表示されます。
   補足 スプールに保持されたメール件数が 1000 件を超えた場合、上位 1000 件だけが表示されます。
- 2. 設定内容に応じて、次のいずれかの操作を行います。

#### ◆ スプールされているメールを再スキャンする場合

- (1) [スプールメール一覧] ページで、[最新の状態に更新] をクリックします。 メールが再スキャンされます。
- ◆ スプールされているすべてのメールを「送信待ち」にする場合
- (1) [スプールメール一覧] ページで、[すべてリセット] をクリックします。 すべてのメールが「送信待ち」の状態になります。

#### ◆ 保留されているすべてのメールを削除する場合

- (1) [スプールメール一覧] ページで、[保留メール全削除] をクリックします。 実行を確認するダイアログボックスが表示されます。
- (2) [はい] をクリックします。 保留されているすべてのメールが削除されます。
- ◆ スプールされているすべてのメールを削除する場合
- (1) [スプールメール一覧] ページで、[すべて削除] をクリックします。 実行を確認するダイアログボックスが表示されます。
- (2) [はい] をクリックします。 すべてのメールが削除されます。

## 2.5 ダイジェスト情報を管理する

[ダイジェストメールボックス一覧]ページでは、ダイジェストメールとして配信予定のメールを管理できます。 ここでは、ダイジェストメッセージの情報を管理する手順を説明します。 管理できる内容は次の2つです。

・未送信のダイジェストメッセージをすべて送信する

・ダイジェストメッセージをすべて削除する

#### 2.5.1 [ダイジェストメールボックス一覧] ページの構成

[メッセージ通知管理] で、[ダイジェストメールボックス一覧] リンクをクリックすると、[ダイジェスト メールボックス一覧] ページが表示されます。

項目	説明
[未送信ダイジェストの 全送信]	クリックすると、確認メッセージが表示されます。 [はい] をクリックすると、各ダイジェストメールボックスの通知時刻にかかわ らず、ダイジェストメールが送信されます。
[すべて削除]	クリックすると、確認メッセージが表示されます。 [はい] をクリックすると、ダイジェストメールボックスにあるメールは送信さ れずに、すべて削除されます。
[メールアドレス]	ダイジェストメールボックスの送信先として設定されているメールアドレスが 表示されます。
[ユーザー Id]	ダイジェストメールボックスの送信先として設定されているユーザー IDが表示 されます。
[Charset]	ダイジェストメールボックスの送信先として設定されているメールアドレスの 文字セットが表示されます。
[テンプレート名]	ダイジェストメールボックスに使用されているテンプレート名が表示されます。
[通知時刻]	ダイジェストメールボックスに格納されたメッセージを、電子メールとして送 信する時間が表示されます。
[メッセージ数]	ダイジェストメールボックスに何通のメッセージが格納されているかが表示されます。

[ダイジェストメールボックス一覧]ページの各項目について説明します。

#### 2.5.2 ダイジェスト情報を管理する手順

- **1.** [メッセージ通知管理] 画面で、[ダイジェストメールボックス一覧] リンクをクリックします。 [ダイジェストメールボックス一覧] ページが表示されます。
- 2. 設定内容に応じて、次のどちらかの操作を行います。

#### ◆ 未送信のダイジェストメールを送信する場合

- (1) [ダイジェストメールボックス一覧] ページで、 [未送信ダイジェストの全送信] をクリックします。 実行を確認するダイアログボックスが表示されます。
- (2) [はい] をクリックします。 未送信のダイジェストメールが送信されます。

#### ◆ ダイジェストメールをすべて削除する場合

- (1) [ダイジェストメールボックス一覧] ページで、[すべて削除] をクリックします。 実行を確認するダイアログボックスが表示されます。
- (2) [はい] をクリックします。 すべてのダイジェストメールが削除されます。

## 2.6 メッセージのテンプレートを編集する

メッセージのテンプレート編集は、即時配信メッセージとダイジェストメッセージで個別に行います。ここでは、 メッセージの種類に応じたメッセージのテンプレート編集の手順を説明します。

・即時配信メッセージのテンプレートを編集する

・<u>ダイジェストメッセージのテンプレートを編集する手順</u>

#### 2.6.1 即時配信メッセージのテンプレートを編集する

#### [即時配信メールテンプレート一覧] ページの構成

[即時配信メールテンプレート一覧] ページでは、即時配信メールのテンプレートの一覧を表示できます。 [メッセージ通知管理] で、[即時配信メール] リンクをクリックすると、[即時配信メールテンプレート一覧] ページが表示されます。

└゙゙゙゙゙ 即時配信メールテンプレート一覧				
テンプレート名	操作			
CollabcDirectMailTemplate_ja	編集			
CollabcDirectMailTemplate_en	編集			
WorkflowDirectMailTemplate_ja	編集			
WorkflowDirectMailTemplate_en	編集			
RepositoryDirectMailTemplate_ja	編集			
RepositoryDirectMailTemplate_en	編集			

図:[即時配信メールテンプレート一覧] ページ

[即時配信メールテンプレート一覧] ページの各項目について説明します。

項目	説明
[テンプレート名]	即時配信メールのテンプレートとして登録されているテンプレートの名前が 表示されます。
[操作] - [編集]	クリックすると、[即時配信メールテンプレート編集]ページが表示されま す。

#### [即時配信メールテンプレート編集] ページの構成

[即時配信メールテンプレート編集] ページでは、即時配信メールのテンプレートを編集できます。 [即時配信メールテンプレート一覧] ページで、[編集] をクリックすると、[即時配信メールテンプレート編 集] ページが表示されます。

☑ 即時配信メールテンプレート編集	
メールに共通のフォーマットを設定することができます。 テンプレート名: CollaboDirectMailTemplateja	
	登録 リセット
ヘッダー文字列:	
^	
`	
<u>フッター文字列:</u> ====================================	
◇■C011aboSpaceからのお知らせ■	
, ,	
	登録 リセット

図:[即時配信メールテンプレート編集] ページ

[即時配信メールテンプレート編集] ページの各項目について説明します。

項目	説明
[登録]	クリックすると、[即時配信メールテンプレート編集] ページで設定した内容 で、テンプレートが登録されます。
[リセット]	クリックすると、[即時配信メールテンプレート編集] ページが表示されたときの状態に戻ります。
[ヘッダー文字列]	即時配信メールのヘッダーとして付加する文字列を2,000バイト以内で入力し ます。
[フッター文字列]	即時配信メールのフッターとして付加する文字列を2,000バイト以内で入力し ます。

#### 即時配信メッセージのテンプレートを編集する手順

**1.** [メッセージ通知管理] 画面で、[即時配信メール] リンクをクリックします。 [即時配信メールテンプレート一覧] ページが表示されます。

即時配信メールテンプレートの種類は、次のとおりです。

- · CollaboDirectMailTemplate : コラボスペースのテンプレート
- ・WorkflowDirectMailTemplate : ワークフローのテンプレート
- · RepositoryDirectMailTemplate : リポジトリコンポーネントのテンプレート

それぞれ、各言語に対応したテンプレートが用意されています。 テンプレート名の末尾の文字列が、対応言語を表しています。

- ・末尾に「\_ja」:日本語用テンプレート
- ・末尾に「\_en」:英語用テンプレート
- 例:CollaboDirectMailTemplate\_ja:コラボスペースの日本語用テンプレート

ただし、言語ライセンスにより表示されるテンプレート情報は変化します。

- **2.** 編集するテンプレートの右側の[編集] をクリックします。 [即時配信メールテンプレート編集] ページが表示されます。
- **3.** [ヘッダー文字列] にメッセージのヘッダーとして追加する文字列を入力します。 入力できる文字列は 2,000 バイト以内です。
- **4.** [フッター文字列] にメッセージのフッターとして追加する文字列を入力します。 入力できる文字列は 2,000 バイト以内です。
- 5. [登録] をクリックします。

設定内容が登録されます。

補足 [リセット]をクリックすると、[即時配信メールテンプレート編集]ページが表示されたときの状態 に戻ります。

#### 2.6.2 ダイジェストメッセージのテンプレートを編集する

#### [ダイジェストメールテンプレート一覧] ページの構成

[ダイジェストメールテンプレート一覧] ページでは、ダイジェストメールのテンプレートの一覧を表示できます。

[メッセージ通知管理] で、[ダイジェスト] リンクをクリックすると、[ダイジェストメールテンプレートー 覧] ページが表示されます。

[ダイジェストメールテンプレート一覧] ページの各項目について説明します。

項目	説明
[テンプレート名]	ダイジェストメールのテンプレートとして登録されているテンプレートの名 前が表示されます。
[操作] - [編集]	クリックすると、[ダイジェストメールテンプレート編集] ページが表示されます。

#### [ダイジェストメールテンプレート編集] ページの構成

[ダイジェストメールテンプレート編集] ページでは、ダイジェストメールのテンプレートを編集できます。 [ダイジェストメールテンプレート一覧] ページで、[編集] をクリックすると、[ダイジェストメールテンプ レート編集] ページが表示されます。

「~」ダイジェストメールテンプレート編集	
メールに共通のフォーマットを設定することができます。	
テンプレート名: CollaboDigestMailTemplate_ja	
	登録 リセット
Fromの指定がない場合のメールアドレス: ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
- ☑ 最後にダイジェスト日時をつける ○ USフォーマット(時刻)タイムゾーンつき) ④ 日本フォーマット(日付のみ, [年]/[月]/[日])	
== I N D E X =================================	
ー 目次: -□目次をつける	
大分類項目の先頭記号: ■ 小分類項目の先頭記号: ▼	
小分類項目の字下げ数: 	
フッター文字列:	
****** とのメールには返信のないてくたさい ****** ===============================	
	(7% 63) (11 - 1
	登録してたか

図:[ダイジェストメールテンプレート編集] ページ

[ダ・	1	ジ	ェスト	・メ	—기	ノテ	シ	゚ブ	'レー	$\vdash$	·編集]	ペ-	-ジの各	項目に	つし	いて説明し	ます	ţ,
-----	---	---	-----	----	----	----	---	----	-----	----------	------	----	------	-----	----	-------	----	----

項目	説明
[登録]	クリックすると、[ダイジェストメールテンプレート編集] ページで設定した 内容で、テンプレートが登録されます。
[リセット]	クリックすると、[ダイジェストメールテンプレート編集]ページが表示されたときの状態に戻ります。
[Fromの指定がない場合の メールアドレス] – [メッ セージ通知管理アドレスを 使う] ラジオボタン	アプリケーションから送られるダイジェストメールにFromの指定がない場合 に、メッセージ通知サーバーの設定値を使用します。
[Fromの指定がない場合の メールアドレス] – [メー ルアドレスを指定する] ラ ジオボタン	アプリケーションから送られるダイジェストメールにFromの指定がない場合 に、指定するメールアドレスを右側の入力フィールドに入力します。
[サブジェクト]	ダイジェストメールに付加するサブジェクト(件名)を半角文字で1,970文 字までで入力します。
[サブジェクト] - [最後 にダイジェスト日時をつけ る]	サブジェクト文字列の後ろにダイジェストメッセージを作成した日時を追加 する場合には、チェックボックスにチェックマークを付けます。
[サブジェクト] – [最後 にダイジェスト日時をつけ る] – [USフォーマット (時刻、タイムゾーンつ き)] ラジオボタン	欧米式のフォーマット(時刻タイムゾーンつき)の日時をサブジェクトに付加します。
[サブジェクト] – [最後 にダイジェスト日時をつけ る] – [日本フォーマット (日付のみ、[年] / [月] / [日])] ラジオボタン	日本式のフォーマット(日付のみ、[年]/[月]/[日])の日時をサブ ジェクトに付加します。
[ヘッダー文字列]	ダイジェストメールのヘッダーとして付加する文字列を半角文字で2,000文 字までで入力します。
[目次] – [目次をつける]	ダイジェストメールに目次を付加する場合、チェックボックスにチェック マークを付けます。
[目次] - [目次と内容の 間の区切り文字列]	ダイジェストメールに目次を付加する場合、目次と内容の間の区切りとする 文字列を半角文字で2,000文字までで入力します。
[大分類項目の先頭記号]	大分類項目の先頭記号として付加する記号を半角文字で256文字までで入力 します。
[小分類項目の先頭記号]	セクションタイトルの先頭記号として付加する記号を半角文字で256文字ま でで入力します。
[小分類項目の字下げ数] プルダウンメニュー	各セクションのタイトル字下げ数を設定します。メッセージの内容はセク ションタイトルの字下げ数に合わせて字下げされます。
[フッター文字列]	ダイジェストメールのフッターとして付加する文字列を半角文字で2,000文 字までで入力します。

### ダイジェストメッセージのテンプレートを編集する手順

**1.** [メッセージ通知管理] 画面で、[ダイジェスト] リンクをクリックします。 [ダイジェストメールテンプレートー覧] ページが表示されます。 ダイジェストメールテンプレートの種類は、次のとおりです。

- · CollaboDigestMailTemplate : コラボスペースのテンプレート
- · RepositoryDigestMailTemplate : リポジトリコンポーネントのテンプレート

それぞれ、各言語に対応したテンプレートが用意されています。

- テンプレート名の末尾の文字列が、対応言語を表しています。
- ・末尾に「\_ja」:日本語用テンプレート
- ・末尾に「\_en」:英語用テンプレート
- 例:CollaboDigestMailTemplate\_ja:コラボスペースの日本語用テンプレート

ただし、言語ライセンスにより表示されるテンプレート情報は変化します。

- **2.** 編集するテンプレートの右側の[編集]をクリックします。 [ダイジェストメールテンプレート編集]ページが表示されます。
- 3. [From の指定がない場合のメールアドレス] で、次のどちらかのラジオボタンを選択します。
  - ・[メッセージ通知管理アドレスを使う]
  - ・[メールアドレスを指定する]

- **4.** [サブジェクト] にメールの件名として使用する文字列を入力します。 入力できる文字列は、半角文字で 1,970 文字以内です。
- 5. 件名の最後に日時を追加する場合、[最後にダイジェスト日時をつける] にチェックマークを付けます。

- **6.** [ヘッダー文字列] にメッセージのヘッダーとして追加する文字列を入力します。 入力できる文字列は、半角文字で 2,000 文字以内です。
- 7. 目次を付ける場合、[目次]の[目次をつける]にチェックマークを付けます。

補足 [目次をつける] にチェックマークを付けた場合、[目次と内容の間の区切り文字列] に目次の区切り にする文字列を入力します。 入力できる文字列は、半角文字で 2,000 文字以内です。

- 8. [大分類項目の先頭記号] に大分類項目の先頭記号にする記号を入力します。 入力できる文字列は、半角文字で 256 文字以内です。
- 9. [小分類項目の先頭記号] に小分類項目の先頭記号にする記号を入力します。 入力できる文字列は、半角文字で 256 文字以内です。
- 10.[小分類項目の字下げ数] プルダウンメニューから、小分類項目の字下げ数を選択します。
- **11.**[フッター文字列] にメッセージのフッターとして追加する文字列を入力します。 入力できる文字列は、半角文字で 2,000 文字以内です。
- 12.[登録] をクリックします。

設定内容が登録されます。

補足 [メールアドレスを指定する]を選択した場合は、電子メールを送信するメールアドレスを入力してく ださい。

補足 [最後にダイジェスト日時をつける] にチェックマークを付けた場合、その下のラジオボタンの選択に応じて日付のフォーマットを指定します。

補足 [リセット] をクリックすると、[ダイジェストメールテンプレート編集] ページが表示されたときの 状態に戻ります。

## 2.7 メッセージ通知コンポーネントの設定を変更する

[設定の変更] ページでは、メッセージ通知コンポーネントの設定を変更できます。 ここでは、メッセージ通知コンポーネントの設定を変更する操作手順を説明します。

#### 2.7.1 [設定の変更] ページの構成

[メッセージ通知管理]で、[設定の変更] リンクをクリックすると、[設定の変更] ページが表示されます。

記定の変更	
メッセージ通知コンボーネントの現在の設定を変更することができます。変更された設定を有効にするには、メッセージ通知コンボトのサービスを再起動する必要があります。	ーネン
登録(リ	セット
基本設定	
メッセージ通知管理アドレス(必須): test	
SMTPサーバーのホスト名: test	
SMTPサーバーのボート番号(1~65535)(必須): 25	
····································	
SMTP認証	
<ul> <li>☑使用する</li> <li>メールユーザー名:</li> </ul>	
新メールパスワード	
DIGEST-MD5利用時のRealm名:	
POP before SMTP 」 グ使用する	
POPサーバーのホスト名:	
<u>POPサー</u> / 『一のポート番号(1~65535)(必須): 1110	
接続ユーザー名:	
新接続パスワード:	
新接続パスワード(確認用)	
\$/\@\E	
רשואב © על שווים	
●署名のみ ○暗号のみ ○署名と暗号 □強度が弱い方式(Trip leDES, RSA(1024bit), sha1withRSA)の許可	
S/MIME処理対象外ロール/グループ設定:	
「 辺明書に関する設定: 「図書名メルセージに証明書を追加する ジロトロによる証明書の失効確認を実施する	
プロキシ設定	
プロキシホスト: proxy-fujifilm-com	
ブロキシボート(1~65535): [0000	
2000	
المعالم المعالم المعالم المعالم	
□ EnvelopeFrom フィールドにメッセージ通知管理アドレスを設定 □ From フィールドにメッセージ通知管理アドレスを設定 □ Prom フィールドにメッセージ通知管理アドレスを設定	
✓ Sender ノイールドにプラビーン通知 B 理アドレス 2000 定 宛先アドレス表示制限(1~500(必須): ●#04	
○「示効」 ○「有効」100 注記: Toへッダに指定数以上含まれていた場合、宛先表示をメッセージ通知管理者に固定します。	
<u>ダイジェストメッセージ最大</u> 登録サイズ(1~5000)(必須): 1000 kB	
注記:最大登録サイズを越えるとダイジェスト通知時刻前にダイジェストメールが送信されます。 ま逆信メール確認問題(10~9800)(が須):	
12001秒 注記: 未決信メール確認問題は 10秒間隔で入力してください。	
メール送信履歴の記録要否設定(必須): ● 有効	
○ 無効 注記:メール送信履歴の記録要否設定が有効な場合、メール送信履歴をログに出力します。	
送信制限 送信制限	
ALIE 2020/2 / 1 BUELTON 100000/CORAL [0000 注 合き販売見取至約中(1〜Craennox)/L/(酒)・	
Zelig puppel Hamasz E(1~20200007 A2020)     R0	
登録しり	セット

図:[設定の変更] ページ

[設定の変更] ページの各項目について説明します。

項目	説明
[登録]	クリックすると、[設定の変更]ページで設定した内容が登録されます。
[リセット]	クリックすると、[設定の変更]ページが表示されたときの状態に戻ります。
[メッセージ通知管理アドレス (必須)]	メッセージ通知管理サーバーのアドレスを半角文字で1~512文字の範囲 で入力します。
[SMTPサーバーのホスト名]	SMTPサーバーのホスト名として設定する値を半角文字で512文字までで 入力します。
[SMTPサーバーのポート番号 (1~65535)(必須)]	SMTPサーバーのポート番号として設定する値を1~65535の範囲で入力します。
[暗号化接続方式(必須)]	メールサーバーへの接続に使用する暗号化接続方式を選択します。 ・[使用しない] ・[SMTPS で接続] ・[STARTTLS で接続]
SMTP認証の [使用する]	SMTPサーバーがSMTP-AUTH認証を行うかどうかを選択します。 管理者は、使用するSMTPサーバーの仕様に併せ、メッセージ通知で SMTP-AUTH認証を使用するかどうかを変更できます。 SMTP認証の[使用する] にチェックマークを付けた場合は、下記の認証 用アカウント名、認証用アカウントパスワードを設定する内容が表示され ます。
[SMTP-AUTH認証用メールア カウント名/パスワードの設 定]	<ul> <li>SMTP認証の[使用する] にチェックマークを付けた場合にだけ表示されます。</li> <li>・[メールユーザー名] 現在設定されている認証用アカウント名を表示します。 認証用のアカウントを変更する場合は、新しいアカウントを半角文字で512文字までで入力します。</li> <li>・[新メールパスワード] 使用するSMTPサーバーの設定にあわせ、新しい認証用パスワードを57バイト以内の文字列で入力します。</li> <li>・[新メールパスワード(確認用)] [メールパスワード]で入力したパスワードを半角文字で512文字までで入力します。</li> <li>・[DIGEST-MD5利用時のRealm名] 現在設定されているRealm名を表示します。 Realm名を変更する場合は入力します。</li> </ul>
POP before SMTPの [使用す る]	POP before SMTPを使用する場合は、チェックボックスにチェックマー クを付けます。 チェックマークを付けた場合は、POPサーバーの設定が表示され、必要に 応じて変更できます。

項目	説明
[POP before SMTP設定]	POP before SMTPの [使用する] にチェックマークを付けた場合にだけ 表示されます。
	・[POP サーバーのホスト名]
	現在設定されているPOPサーバーのホスト名が表示されます。 ホスト名を変更する場合は、新しいホスト名を入力します。
	・[POP サーバーのポート番号(1 ~ 65535)(必須)]
	現在設定されているPOPサーバーのポート番号が表示されます。 ポート番号を変更する場合は、新しいポート番号を1~65535の範囲で 入力します。
	・[接続ユーザー名] 現在設定されているPOPサーバーの接続ユーザー名が表示されます。 接続ユーザー名を変更する場合は、新しい接続ユーザー名を半角文字で 512文字までで入力します。
	・[新接続パスワード] 現在設定されているPOPサーバーの接続パスワード名が表示されます。 接続パスワードを変更する場合は、新しい接続パスワードを半角文字で 512文字までで入力します。
	・ <b>[新接続パスワード (確認用)]</b> [接続パスワード] に入力したパスワードを入力します。
S/MIME設定の [使用する]	S/MIMEでメール送信を行うかどうかを設定します。
S/MIME設定のラジオボタン	次のどれかのラジオボタンを選択します。 ・[署名のみ] ・[暗号のみ] ・[署名と暗号] S/MIME設定の [使用する] にチェックマークを付けた場合にだけ表示さ れます。
「強度が弱い方式(TripleDES、	強度が弱い方式で暗号・署名メール送信する場合にチェックマークを付け
RSA(1024bit)、 Sha1withRSA)の許可]	ょす。 S/MIME 設定の [使用する] にチェックマークを付けた場合にだけ表示 されます。
[S/MIME処理対象外ロール/	S/MIME処理対象としないロール/グループを指定します。
グループ設定」	[アドレス帳]をクリックして、アドレス帳から選択できます。 S/MIME設定の[使用する] にチェックマークを付けた場合にだけ表示されます
	************************************
[証明書に関する設定]	S/MIME 設定の [使用する] にチェックマークを付けた場合にだけ表示 されます。
	・[署名メッセージに証明書を追加する] メッセージ通知から送信するメールの署名の中に署名者の証明書(署名 者の証明書のトラストアンカーまでのパス上証明書)を含める場合に チェックマークを付けます。
	・[CRLによる証明書の失効確認を実施する]
	ユーザーの証明書検証時にCRLによる証明書の失効確認を実施する場合 にチェックマークを付けます。

項目	説明
[プロキシ設定]	S/MIME 設定の [使用する] にチェックマークを付けた場合にだけ表示 されます。
	・ <b>[プロキシホスト]</b> プロキシポート番号を変更する場合は、新しいプロキシホスト名を半角 文字で512文字までで入力します。
	・[プロキシポート(1~65535)] プロキシポート番号を変更する場合は、新しいプロキシポート番号を1 ~65535の範囲で入力します。
	・[次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない] プロキシを使用しないアドレスを変更する場合は、[次で始まるアドレ スにはプロキシを使用しない] に新しいプロキシを使用しないアドレス を半角文字で512文字までで入力します。
[メール送信詳細設定]	<ul> <li>・[Envelope From フィールドにメッセージ通知管理アドレスを設定]</li> <li>Envelope From (Mail From) にメッセージ通知管理アドレスを設定 する場合は、チェックマークを付けます。</li> </ul>
	<ul> <li>・[From フィールドにメッセージ通知管理アドレスを設定]</li> <li>Fromにメッセージ通知管理アドレスを設定する場合は、チェックマークを付けます。</li> </ul>
	<ul> <li>・[Sender フィールドにメッセージ通知管理アドレスを設定]</li> <li>Senderにメッセージ通知管理アドレスを設定する場合は、チェック マークを付けます。</li> </ul>
	<ul> <li>「宛先アドレス表示制限(1~500)(必須)] ラジオボタン</li> <li>宛先アドレスの表示制限を[無効] ラジオボタンまたは[有効] ラジオボタンから選択します。</li> <li>[有効]を選択した場合に、宛先アドレスを表示する値を、1~500の範囲で入力します。</li> </ul>
	・ <b>[ダイジェストメッセージ最大登録サイズ(1 ~ 5000)(必須)]</b> ダイジェストメッセージの最大登録サイズを、1~5000の範囲で入力 します。
	・[未送信メール確認間隔(10~3600)(必須)] 送信可能なメールの有無を確認する間隔を、10~3600の範囲で入力し ます。
	・[送信制限カウント設定(100 ~ 1000000)(必須)] 送信制限設定を、100~100000の範囲で入力します。
	・[送信制限間隔設定(1~525600)(必須)] 送信制限間隔設定を、1~525600の範囲で入力します。

#### 2.7.2 メッセージ通知コンポーネントの設定を変更する手順

- [メッセージ通知管理] 画面で、[設定の変更] リンクをクリックします。
   [設定の変更] ページが表示されます。
- **2.** [メッセージ通知管理アドレス(必須)] に、メッセージ通知管理サーバーのアドレスを入力します。 入力できる文字列は、半角文字で 512 文字以内です。
- **3.** [SMTP サーバーのホスト名] に SMTP サーバーのホスト名として設定する値を入力します。 入力できる値は、半角文字で 512 文字以内です。
- 4. [SMTP サーバーのポート番号(1~65535)(必須)] に SMTP サーバーのポート番号として設定する値を入力します。
   入力できる値は、1~65535の範囲です。
- 5. [暗号化接続方式(必須)] で、SMTP サーバーへの接続に使用する暗号化接続方式を選択します。
  - ・[使用しない]
  - ・[SMTPS で接続]
  - ・[STARTTLS で接続]
- 6. SMTP-AUTH 認証を行うかどうかを SMTP 認証の[使用する] で選択します。
  - ・SMTP-AUTH 認証を行う場合:チェックマークを付ける
  - ・SMTP-AUTH 認証を行わない場合:チェックマークを付けない

チェックマークを付けない場合は、手順11に進んでください。

- 7. SMTP 認証の [使用する] にチェックマークを付けた場合、次の項目が表示されます。
  - ・[メールユーザー名]
  - ・[新メールパスワード]
  - ・[新メールパスワード(確認用)]
  - ・[DIGEST-MD5 利用時の Realm 名]

必要に応じて認証用のメールアカウント、パスワード、および Realm 名を変更できます。

- 8. 認証用のメールアカウントを変更する場合は、[メールユーザー名] に新しい認証用のメールアカウント を入力します。 入力できる文字列は、半角文字で 512 文字以内です。
- 9. 認証用のメールアカウントのパスワードを変更する場合は、[新メールパスワード]、および [新メール パスワード (確認用)] に、新しい認証用のメールアカウントのパスワードを入力します。
  - 入力できる文字列は、57 バイト以内の文字列です。
- **10.**DIGEST-MD5 利用時の Realm 名を変更する場合は、[DIGEST-MD5 利用時の Realm 名] に、 Realm 名を入力します。

- **11.**POP before SMTP の [使用する] で、メッセージ通知に POP before SMTP を使用するかどうかを 選択します。
  - · POP before SMTP を使用する場合:チェックマークを付ける
  - · POP before SMTP を使用しない場合:チェックマークを付けない

チェックマークを付けない場合は、手順17に進んでください。

- **12.**POP before SMTP の [使用する] にチェックマークを付けた場合、次の項目が表示されます。
  - ・[POP サーバーのホスト名]
  - ·[POP サーバーのポート番号(1~65535)(必須)]
  - ・[接続ユーザー名]
  - ・[新接続パスワード]
  - ・[新接続パスワード(確認用)]

必要に応じて POP before SMTP 設定を変更できます。

- **13.**POP サーバーのホスト名を変更する場合は、[POP サーバーのホスト名] に新しい POP サーバーのホ スト名を入力します。
- **14.**POP サーバーのポート番号を変更する場合は、[POP サーバーのポート番号(1 ~ 65535)(必須)] に新しい POP サーバーのポート番号を入力します。 入力できるポート番号は、1 ~ 65535 の範囲です。
- **15.**POP サーバーへの接続ユーザー名を変更する場合は、[接続ユーザー名] に新しい接続ユーザー名を入 力します。 入力できる文字列は、半角文字で 512 文字以内です。
- **16.**POP サーバーへの接続パスワードを変更する場合は、[新接続パスワード]、および [新接続パスワード (確認用)] に、新しい接続パスワードを入力します。 入力できる文字列は、半角文字で 512 文字以内です。
- **17.**S/MIME 設定の[使用する]で、S/MIME でメール送信を行うかどうかを選択します。
  - ・S/MIME でメール送信を行う場合:チェックマークを付ける
  - ・S/MIME でメール送信を行わない場合:チェックマークを付けない

チェックマークを付けない場合は、手順20に進んでください。

- 18.S/MIME 設定の [使用する] にチェックマークを付けた場合、次の項目が表示されます。
  - ・S/MIME 設定のラジオボタン
  - ・[S/MIME 処理対象外ロール/グループ設定]
  - ・[証明書に関する設定]
  - ・[プロキシ設定]

必要に応じて S/MIME 処理の設定を変更できます。

**19.**S/MIME 設定で、次のどれかのラジオボタンを選択します。

- ・[署名のみ]
- ・[暗号のみ]
- ・[署名と暗号]
- **20.**強度が弱い方式で暗号・署名メール送信する場合に [強度が弱い方式 (TripleDES、RSA(1024bit)、 Sha1withRSA)の許可] にチェックマークを付けます。
- **21.** [S/MIME 処理対象外ロール/グループ設定]で、[アドレス帳]をクリックします。 [アドレス帳] 画面が表示されます。
- **22.**[アドレス帳] 画面で、S/MIME 処理対象としないロール/グループを選択して、[アドレス帳] 画面を 閉じます。

参照アドレス帳の詳細については、『アドレス帳のヘルプ』を参照してください。

23.メッセージ通知から送信するメールの署名の中に署名者の証明書(署名者の証明書のトラストアンカーまでのパス上証明書)を含める場合は、[署名メッセージに証明書を追加する]にチェックマークを付けます。

補足 証明書には、トラストアンカー証明書は含みません。

- 24.ユーザーの証明書検証時に CRL による証明書の失効確認を実施する場合は、[CRL による証明書の失効 確認を実施する] にチェックマークを付けます。
- **25.**プロキシホスト名を変更する場合は、[プロキシホスト] に新しいプロキシホスト名を入力します。 入力できる文字列は、半角文字で 512 文字以内です。
- **26.**プロキシポート番号を変更する場合は、[プロキシポート(1 ~ 65535)] に新しいプロキシポート番号 を入力します。 入力できる値は、1 ~ 65535 の範囲です。
- **27.**プロキシを使用しないアドレスを変更する場合は、[次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない] に 新しいプロキシを使用しないアドレスを入力します。 入力できる文字列は、半角文字で 512 文字以内です。
- **28.**Envelope From (Mail From) にメッセージ通知管理アドレスを設定する場合は、[Envelope From フィールドにメッセージ通知管理アドレスを設定] にチェックマークを付けます。
- **29.**From にメッセージ通知管理アドレスを設定する場合は、[From フィールドにメッセージ通知管理アドレスを設定] にチェックマークを付けます。
  - 注記 [From フィールドにメッセージ通知管理アドレスを設定] にチェックマークを付けた場合、コラボス ペース管理アプリケーションの [メール設定] で、返信メール取込みを有効にした場合の [返信用の 暗号キーをメールの From フィールドに付加する] 機能は無効化されます。
- **30.**Sender にメッセージ通知管理アドレスを設定する場合は、[Sender フィールドにメッセージ通知管理 アドレスを設定] にチェックマークを付けます。
- 31.宛先アドレスを表示制限する場合は、[宛先アドレス表示制限(1~500)(必須)] ラジオボタンで [有効]を選択します。
   入力できる値は、1~500の範囲です。
   必要に応じて宛先アドレスの表示制限値を変更できます。
- **32.**[ダイジェストメッセージ最大登録サイズ(1 ~ 5000)(必須)] で、ダイジェストメッセージ最大登録 サイズを入力します。

入力できる値は、1~5000の範囲です。 必要に応じて最大登録サイズを変更できます。 **33.**[未送信メール確認間隔(10~3600)(必須)]で、送信可能なメールの有無を確認する間隔を入力します。

入力できる値は、10~3600の範囲です。 必要に応じて未送信メール確認間隔を変更できます。

- **34.**[送信制限カウント設定(100~100000)(必須)] で、送信制限カウント設定を入力します。 入力できる値は、100~100000の範囲です。 必要に応じて送信制限カウント設定を変更できます。
- **35.**[送信制限間隔設定(1~525600)(必須)] で、送信制限間隔設定を入力します。 入力できる値は、1~525600の範囲です。 必要に応じて送信制限間隔設定を変更できます。
- 36.[登録]をクリックします。
   設定内容が登録されて、メッセージ通知コンポーネントの再起動を促す画面が表示されます。
   補足 [リセット]をクリックすると、[設定の変更]ページが表示されたときの状態に戻ります。
- 37.メッセージ通知コンポーネントをインストールした PC で次のサービスを再起動してください。
  - · ArcSuite Web Application Service
  - · ArcSuite Basic Service

## 2.8 メッセージ通知サーバーの送信制限状況を確認する

[送信制限カウント状況]ページでは、メッセージ通知サーバーが一定時間内に送信したメールのカウントを確認できます。

メッセージ通知サーバーは、送信したメールのカウントを自動的にリセットします。

[現在のカウント数/送信制限カウント数]の[現在のカウント数]の値が1以上の場合は、次のときに自動的に リセットします。

・メッセージ通知サーバーがメールを送信したとき

・[送信制限カウント状況] ページを開いたとき

ここでは、送信したメールのカウントをリセットする手順を説明します。

### 2.8.1 [送信制限カウント状況] ページの構成

[メッセージ通知管理] で、[送信制限カウント状況] リンクをクリックすると、[送信制限カウント状況] ページが表示されます。

──送信制限カウント状況	
現在の送信制限カウント状況です。	
項目	値
現在のカウント数 / 送信制限カウント数	0 / 10000
前回リセット日時	2020/12/16 12:23:03
次回リセット予定日時	2020/12/16 13:23:03

図:[送信制限カウント状況] ページ

[送信制限カウント状況]ページの各項目について説明します。

項目	説明
[現在のカウント数/送 信制限カウント数]	前回リセット日時から現在までのメール送信数および現在設定されている送信 制限カウント数が表示されます。
[前回リセット日時]	前回リセットされた日時が表示されます。 メッセージ通知サーバーが、送信したメールのカウントを自動でリセットした 場合は、リセットした日時が表示されます。
[次回リセット予定日時]	システムにリセットされる予定日時が表示されます。
[カウンターをリセット]	クリックすると、確認メッセージが表示されます。 [はい] をクリックすると、[現在のカウント数] が0に設定されます。

#### 2.8.2 送信制限カウントをリセットする手順

**1.** [メッセージ通知管理] 画面で、[送信制限カウント状況] リンクをクリックします。 [送信制限カウント状況] ページが表示されます。

# [カウンターをリセット]をクリックします。 実行を確認するダイアログボックスが表示されます。[はい]をクリックすると、[現在のカウント数]が0に設定されます。

## 2.9 テストメールを送信する

[テストメール送信] ページでは、メッセージ通知サーバーの動作を確認するために、テストメールを送信できます。

ここでは、メッセージ通知サーバーの設定を確認するために、テストメールを送信する操作手順を説明します。

## 2.9.1 [テストメール送信] ページ

[メッセージ通知管理]で、[テストメール送信] リンクをクリックすると、[テストメール送信] ページが表示されます。

≧テストメール送信	
	送信 リセット
あて先のメールアドレス(必須): test@admin <b>注記: mailaddress@domain.co.jpの形式で入力してください。</b> メッセージ通知サービスのURL(必須): http:// /ArcSuite/cmMailIF/services/CmessageAxisService	
	送信 リセット

図:[テストメール送信] ページ

[テストメール送信]ページの各項目について説明します。

項目	説明
[送信]	クリックすると、テストメールが送信されます。
[リセット]	クリックすると、[テストメール送信]ページが表示されたときの状態に戻ります。
[あて先のメールアドレ ス]	テストメールの送信先メールアドレスを入力します。
[メッセージ通知サービ スのURL]	コラボスペースなどからメッセージ通知サーバーにメール情報を送信するためのURLが表示されます。通常は、稼働中のメッセージ通知サーバーのURLが指定されているので、変更する必要はありません。

#### 2.9.2 テストメールを送信する手順

- **1.** [メッセージ通知管理] 画面で、[テストメール送信] リンクをクリックします。 [テストメール送信] ページが表示されます。
- 2. [あて先のメールアドレス] にテストメールを送信するアドレスを入力します。
  - 補足 [メッセージ通知サービスの URL] にはコラボスペースなどからメッセージ通知サーバーにメール情報 を送信するための URL が表示されます。通常は、稼働中のメッセージ通知サーバーの URL が指定さ れているので、変更する必要はありません。
- 3. [送信] をクリックします。

テストメールが送信されます。

補足 [リセット]をクリックすると、[テストメール送信]ページが表示されたときの状態に戻ります。

## 2.10 管理アプリケーションを終了する

ここでは、管理アプリケーションを終了する手順を説明します。

#### 2.10.1 管理アプリケーションを終了する手順

- **1.** 画面右上の 🕣 ([ログアウト] アイコン) をクリックします。 ログアウトし、[管理ログイン] 画面に戻ります。
- **2.** Web ブラウザーの [×] ボタンをクリックします。 管理アプリケーションが終了します。